

「第54回 檜山北部中体連駅伝競走大会」
男子は北檜山中、女子は瀬棚中がV

Koho - kenbunroku



男子優勝の北檜山中中学校チーム



女子優勝の瀬棚中学校チーム

10月1日(水)、第54回 檜山北部中体連駅伝競走大会(檜山北部中学校体育連盟主催)が、せたな—今金間で開催されました。

大会には、せたな町3校(北檜山中学校、瀬棚中学校、大成中学校)、今金中学校の計4校からそれぞれ男女各4チームが出場し、今年は瀬棚総合支所から今金中学校までの7区間20.3kmのコースで行われました。

選手たちは、沿道で応援する家族や仲間などから多くの声援を受けながら力走し、男子は北檜山中学校(2年ぶり7回目)、女子は瀬棚中学校(28年ぶり3回目)がそれぞれ優勝しました。



男子 1位 北檜山中 1時間13分00秒(2年ぶり7回目)

①三津橋俊輝 ②小林 雅 ③中山太貴 ④大関翔也 ⑤原 怜央 ⑥内木 空 ⑦吉野 迅

2位 瀬棚中 1時間14分40秒

3位 今金中 1時間17分05秒

女子 1位 瀬棚中 1時間28分39秒(28年ぶり3回目)

①平田誌音 ②尾山樹莉亜 ③土橋風花 ④浜高莉音 ⑤尾野笑花 ⑥平賀美玖 ⑦千葉こひる

2位 今金中 1時間30分06秒

3位 北檜山中 1時間33分48秒

編集後記

●10月から児島くんとはトンタツチした清水です。趣味はギターと音楽鑑賞、役場4年目、23歳です。よろしくお願ひします。中体連駅伝が初取材となりましたが、懐かしかったのは、せたな町が合併した平成17年度大会に自分も出場していたからで、元気な学生たちを見ていたからもう10年近くなるんだと思ひ、当時、長距離ならよつと自信があった自分と今はずつかりインドアになった自分が重なり、10年の月日の早さと長さを感じます。来年はそんな節目を迎えた、せたな町10歳の記念の年。今年からフレイベントもはじまり広報担当として皆さんにお伝えできることを光栄に思ひ、頑張っていきます。(清水)

●今年の中体連駅伝は、天気も良くて沿道の応援も多かった気がします。各区間を取材で回っていたので、チーム一丸となり一つのタスキをゴールまで必死にならずに選手に渡す姿、どれもいろいろドラマを感じられました。特に印象的だったのは、男子では途中リードを許していた北檜山中学校の鮮やかな逆転優勝、女子ではゴール後歓喜に包まれた28年ぶりとなる瀬棚中学校の優勝、どちらもゴール後に喜びを分かち合う選手や関係者の輪が印象的でした。そんな見事なタスキリレーのさなか、15ページでお知らせしたように、10月1日付の人事異動で約1年半広報と統計業務を一人三脚でやっていた児島くんが、その隣にいた清水くんへタスキをリレーすることに。異動した2人は、新天地での新しい仕事となり、すがすがしく新たな力走活躍を期待しています。そしてそんな状態で、ハタタスキを握りしめ、スタミナでは負けるけど、経験を活かし頑張ります。(尾野)

